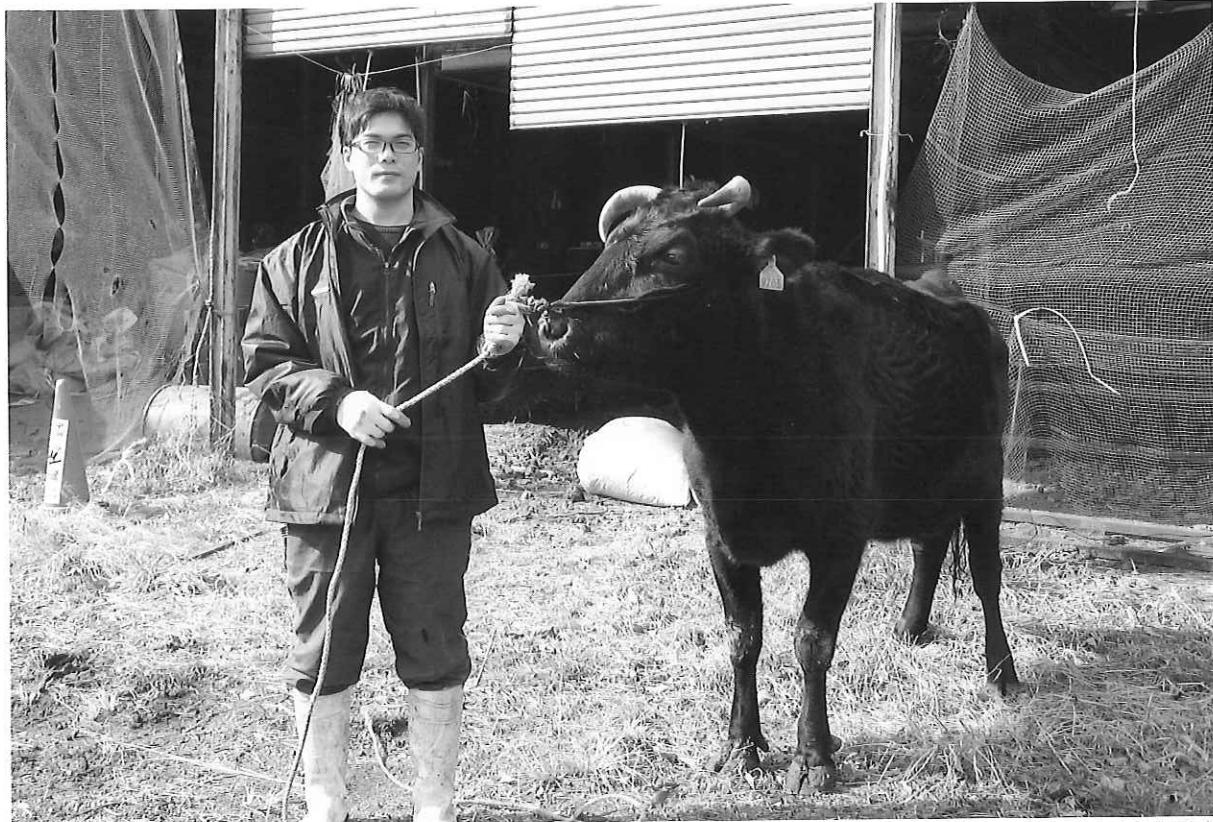


岡山畜産便り

2015 2



総社市 本行 孝至さん(肉用牛)

もくじ

県内で発生した高病原性鳥インフルエンザについて	
岡山県農林水産部畜産課	1
〔県民局だより〕	
畜産の町、奈義町の取り組み！	
美作県民局畜産第一班	3
〔家保のページ〕	
カラスがやってくる！カアカアカア！	
津山家畜保健衛生所	4
〔共済連だより〕	
家畜診療日誌	
蒜山家畜診療所 森本 高輝	6
〔普及の現場から〕	
2014年 勝英地域の畜産の取り組み	
勝英農業普及指導センター	7
〔技術のページ〕	
受精卵移植を活用した和牛全共への取り組み	
岡山県農林水産総合センター	
畜産研究所改良技術研究室	9
〔畜産現場の声〕	
素人から牛飼いを始めて	
本行 孝至（総社市）	11
〔食品流通業界の声〕	
岡山県畜産物のマーケティングについて	
（株）天満屋ストア	
（一社）岡山県畜産協会	12
〔共済フレッシュさんの声〕	
真庭家畜診療所 富永 由香	13
〔ホットニュース〕	
吉備中央町エコセンター（堆肥処理）	
改修工事完成	
（一社）岡山県畜産協会価格安定部	14
〔お知らせ〕	
和牛シンポジウムの開催	
（一社）岡山県畜産協会経営指導部	15
〔ふるさとメッセージ〕	
村上 洋介（帝京科学大学教授）	16
北海道乳牛市場の初妊牛価格の推移	
おかやま酪農業協同組合	
事業本部業務課流通班	18
〔Q & A コーナー〕	
自給飼料生産への支援について教えて下さい	
（一社）岡山県畜産協会経営指導部	20
平成26年度畜産便り総目次	21

取扱品目のあらまし

動物用ワクチン・血清類一切、獣医畜産用薬品全般
家畜・家禽の飼料添加剤各種、獣医畜産用器具機械類
衛生材料(ガーゼ・脱脂綿・繩帶・その他)
土壤関係検査測定器具・試薬



JYUCHIKU Co. Ltd.

株式会社 ジュウチク

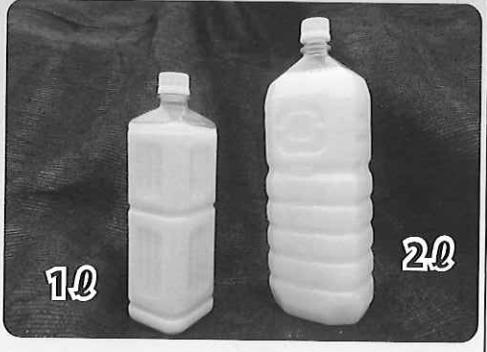
岡山市北区奉還町4-4-11 岡獣ビル内 TEL 086-214-2288
FAX 086-214-2287

**果物・野菜用
植物活力剤**

乳酸菌系葉面散布剤

ラクトのチカラ

細胞の活性化 生育促進



使用目安(方法) 良くまぜてからお使い下さい。育苗時・本圃定植後に500倍~1,000倍に水で希釈し葉面に散布してお使い下さい。使用回数は7日~10日に1回が目安です。生育状況に応じて散布回数を調整して下さい。使用後は噴霧機など機器内に希釈液が残らないように洗い流して下さい。目の細かい機器を使用する際は、目詰まり防止のためフィルターをご使用下さい。

(植物活力剤) [窒素・リン酸・カリ 各 1% 未満] [成分: 豆乳・ブドウ糖・クエン酸・乳酸菌] [保存上の注意: 乳酸菌等の働きにより、ガスが発生する場合があります。希釈した液は保存できませんので、その日の内に使い切って下さい。開封後はなるべく早く使い切って下さい] [飲用不可]

有機栽培なら
灌水チューブで水と一緒に流してOK!
根張りが良くなる! 根の育苗日数短縮!

FUTABA

製造総販売元
フタバ飼料株式会社 バイオ事業部
〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1
TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870
e-mail:info@futabashiryo.co.jp

県内で発生した 高病原性鳥インフルエンザについて

岡山県農林水産部畜産課

平成27年1月15日に県内で発生した高病原性鳥インフルエンザの概要及びその対策について紹介します。

1 発生農場の概要

- 農場所在地 笠岡市
- 飼養状況 採卵鶏 199,160羽

2 制限区域内の農場

- 移動制限区域（半径3km以内）
6農場（267,400羽）
- 搬出制限区域（半径3～10km以内）
15農場（718,065羽）

3 発生及び防疫措置の概要

月 日	発生農場	制限区域内の農場
1月15日	<ul style="list-style-type: none"> 農場からの通報(10:00) 卵等移動制限や部外者立入制限を指示 簡易検査陽性 (14:30) → 移動自粛要請 遺伝子検査でH5亜型と判明 (23:05) → 移動制限、搬出制限開始 消毒ポイント設置 <p>高病原性鳥インフルエンザ発生</p> <ul style="list-style-type: none"> 防疫作業開始 ※24時間体制で作業実施 	
16日	・殺処分開始(1:30)	・卵出荷再開検査
17日	・殺処分鶏等焼却開始	・卵出荷再開 (例外措置適用)
19日	・殺処分終了(15:30)	
20日～22日	・農場、鶏糞等の消毒	
23日	・農場、鶏糞等消毒終了	
	防疫措置完了 (20:00)	
24日	・焼却終了	

月 日	発生農場	制限区域内の農場
30日	・農場消毒	
31日		・緊急消毒開始 (全養鶏農場)
2月3日～7日	・農場消毒	<ul style="list-style-type: none"> 移動制限区域内清潔性検査開始 ↓ ・検査結果陰性 ・搬出制限区域の解除 ・消毒ポイントの縮小
13日		21日間
14日午前0時		移動制限区域解除（全ての防疫措置を完了） 全ての消毒ポイントを終了

4 防疫作業体制（2月13日現在、順不同）

（1）作業人員（延人数、合計8,514人）

- 県職員動員4,808人
- ・自衛隊員400人
- ・警察1,170人
- ・国459人
- ・他府県32人
- ・市町村242人
- ・農業関係団体124人
- ・保健福祉関係団体2人
- ・土木関係団体1,277人

（2）物的支援等

ア 資機材提供

- 中国地方整備局：照明車、散水車等
- 動物検疫所、京都府、鳥取県：密閉容器
- （一社）岡山県建設業協会：フォークリフト、トラック、照明器、テント等
- （一社）岡山県トラック協会：トラック、パレット等

- イ 殺処分鶏等の焼却受け入れ
- ・吉備路クリーンセンター
- ・倉敷市水島清掃工場
- ・東部クリーンセンター
- ・高梁地域事務組合クリーンセンター
- ・エコシステム山陽株式会社

5 今後の対応

(1) 発生農場の清浄性確認

消毒した鶏舎や堆肥舎について、ウイルス検査により清浄性を確認し、経営再開を支援します。

(2) 経営支援対策

移動制限期間内に生じた損失補填や発生農場をはじめ影響を受けた農場を対象とした融資への利子補給により、経営支援を行います（6で詳述）。

(3) 防疫作業の検証

この度の防疫作業について検証し、大規模農場での発生を想定した対応策の検討や対応マニュアル等の見直しを行うとともに、研修会や防疫演習を実施し、危機管理体制の強化を図ります。

(4) 防疫対策の強化

今後も飼養衛生管理基準遵守状況の確認・指導により、発生防止対策を徹底するとともに、万が一の発生に備え関係機関との連携を強化していきます。

(5) 風評被害の防止

風評被害防止のため、引き続き県のＨＰ等で正しい情報を提供し、根拠のない噂などにより混乱が生じないように努めます。

6 発生に係る支援策等

防疫措置に係る経費及び農場に対する支援を緊急に実施するため、以下のとおり予算措置しました。

(1) まん延・再発防止対策

〈発生農場関係〉

- ア 鶏の焼却等に要する経費
(予算額284,592千円)

〔内容〕 家畜伝染病予防法に基づく発生

農場の鶏の殺処分や焼却に要する経費

イ 消毒等に要する経費 (予算額23,980千円)

〔内容〕 家畜伝染病予防法に基づく発生農場の消毒等に要する経費

ウ その他防疫作業に要する経費 (予算額101,462千円)

〔内容〕 消耗品費及び資材借上げ費など防疫作業に要する経費

〈県下全養鶏農場関係〉

- エ 鶏舎等の消毒に要する経費
(予算額10,240千円)

〔内容〕 まん延防止対策を強力に推進するため、有効な消石灰及び消毒薬を全ての養鶏農場に配布する経費

(2) 農場への経営支援対策

- ア 移動制限期間内の損失の補償
- ・鶏卵等価値の減少補填
(予算額11,192千円)

〔内容〕 移動制限、搬出制限区域内の農場において、一時保管後、出荷される鶏卵等について、その価値減少分を助成する経費

- イ 家畜疾病経営維持資金利子補給助成制度の創設
- ・経営再開資金
(発生農場、貸付枠80,000千円)
- ・経営継続資金
(移動制限、搬出制限区域内の農場)
- ・経営維持資金
(移動制限、搬出制限区域外の農場)
(合計で貸付枠600,000千円)

〔内容〕 経営に多大な影響を受ける農場に対し、国が行う利子補給制度において、融資機関（農協や市中銀行）と協力して、追加の利子補給（県1.5%以内）を行い、農場の借入金利を無利子とする制度の創設

[県民局だより]

畜産の町、奈義町の取り組み！

美作県民局畜産第一班

1 畜産の町 奈義町

奈義町の畜産業は、農業産出額のうちの約80%を占める基幹産業となっています。

頭羽数でみると、乳用牛約980頭、肉用牛約2400頭、豚約3600頭、採卵鶏約64万羽、肉用鶏約5万羽と県内でも有数の畜産地帯となっています。

岡山の畜産にとって切っても切り離せない地域で、町は関係機関と連携し、積極的な支援を行っています。

2 奈義町の取り組み

奈義町では、生産から流通に至るまで、畜産に対する包括的な支援体制を整備しています。肉用牛生産のために優秀な繁殖雌牛や肥育素牛、酪農経営においては、優良な初妊牛、養豚においては種豚の導入に対する支援等を行うことで、農家の生産性の向上に努めています。さらに、平成6年に町が整備した奈義有機センターは農家の家畜糞尿の処理負担を軽減し、今日の畜産地帯の維持発展に大きく貢献しています。

流通面においても、昨今話題になっているふるさと納税のお礼の品や、ご当地グルメ詰め合わせに、町内産の畜産物の認知度アップのため「なぎビーフ」や「おかやま黒豚」を大々的に扱っており、今年度は全国から多数の申し込みがありました。地域内での畜産物の流通にも力を入れており、「那岐山麓 山の駅」を地域内での畜産物流通の拠点として消費拡大の取り組みに力を入れています。

3 那岐山麓 山の駅



図1 那岐山麓 山の駅 外観

那岐山の麓、標高400mにある「那岐山麓 山の駅」は、特産品ショップ、レストラン、パン工房やコテージなどを備えた滞在型リゾートスポットです。レストランでは町内産の畜産物のおいしさを知ってもらおうと、「なぎビーフ」、「おかやま黒豚」を用いた料理を提供しています。「おかやま黒豚」を使用したワインナーブル体験も行っており、消費者が畜産に触れられる場になっています。さらに今年度から「なぎビーフ」や「おかやま黒豚」の精肉販売を始めました。



図2 おかやま黒豚を使ったメニュー
「うちの畑のとれとれ弁当」

行政が率先して畜産物消費拡大の取り組みに力を入れることができるのも、奈義町で畜産が盛んであるからこそ。ぜひ、そんな奈義町で「なぎビーフ」「おかやま黒豚」をご賞味ください！

那岐山麓 山の駅に関するお問い合わせは
電話0868（36）8080（サンロクハレバレ）

[家保のページ]

カラスがやってくる！カアカアカア！

津山家畜保健衛生所

秋から冬にかけて、カラスの集団をよく見かけます。冬は野鳥が運んだのではないかと思われる感染症が発生する時期ですが、今回は野鳥の中でも「カラス」にスポットをあててみたいと思います。

1. カラスとボツリヌス症

先月号（2015年1月号）でボツリヌス症についてご紹介しました。ボツリヌス症は牛、鶏などで発生があり、人でも食中毒の1つとして有名です。ところが、カラスでは聞いたことはありません。何故なのでしょうか？

実は、カラスはボツリヌス菌を持っていても何の病気も起こしません。動物の死肉を食べるカラスのような鳥は強い抵抗力があり、少々腐っていようがカラスにとってはへっちゃらなのです。まさしく鉄の胃袋！

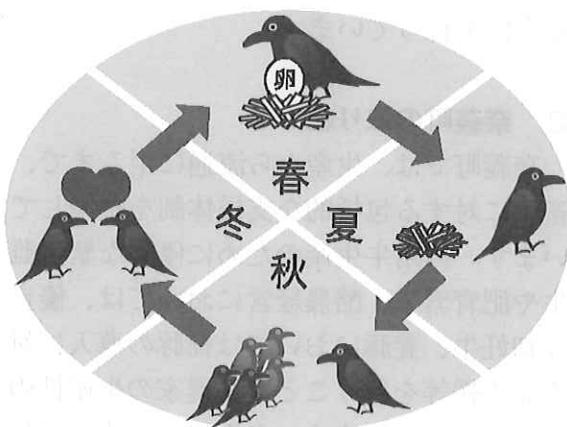
そんな鉄の胃袋を持つカラスが全員（全鳥？）、ボツリヌス菌を持って飛び回っているのでしょうか？これは違います。ごく一部のカラスのみが持っております、ある調査では保菌率は3%という結果が出ています。ただこれも、地域によってはもっと保菌していると思われます。

2. 我が家のカラスはいいカラス？

牛農家さんとボツリヌス症の話をしていると、「家の近くにいつもいるカラスは病原菌を持ってない良いカラスと聞いたが本当か？」「病気を持っているのはワタリのカラスではないのか？」という質問を受けます。

カラスの一生は若いカラスが群れる時期と大人になったカラスが縄張りを持つ時期に分かれています。

カラスの産卵は4～5月頃で、産まれた若カラスは夏に巣立ちし、若カラス同士の群れをつくります。群れは広い行動範囲を飛び回り、夕方になると同じねぐらに帰ってきます。



9月ごろ、様々な場所からカラスが集まり、群れはどんどん大きくなります。秋の空、真っ黒になるほどのカラスの大群を見たことがあるかもしれません。若カラスは数年間、この群れの中で生活します。

数年後の冬、群れの中でパートナーを見つけ、なわばり争いに勝ったカラスが次の春、卵を産み育てます。

ですから、先ほどの質問のお答えは、「今は持っていないのかもしれないが、いつ持ったカラスがやって来て住み着くかわからない。だからこそ、カラス対策はいつもしておく必要があるのです！」。

3. カラス対策はたったの2つ

農家さんのカラス対策、何ができるでしょうか。

「テグスは張ってるんだけどねえ」

「カラス用の箱罠を設置している」

「来たら花火で追い払ってる」

「防鳥ネットを張ったら入ってこないよ」
どれも効果はありますが、効果を継続するためには対策は手を変え品を変え、アイデアを加えていく必要があります。

カラスが農場にくる理由は2つです。

①食べ物！エサが手に入る！

②安全！天敵がない！

この2つのポイントを中心に、対策をとっていきましょう。

対策①食べ物が手に入らない環境をつくる

カラスは臭いではなく、目でエサを見つける生き物です。エサは飼料、堆肥、腐った残飯のようなものまでカラスにとってはごちそうです。そのため、エサ箱にフタをし、残飼を片付けることで「農場にあなたの食べられる餌はないよ！」とアピールすることが重要です。

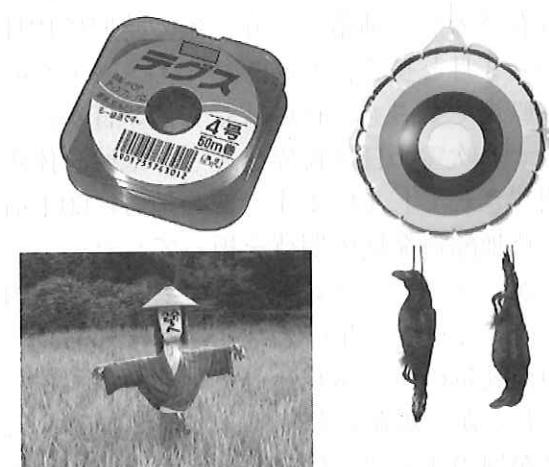
とはいっても、農場で飼槽にフタをすることは不可能です。そこで、防鳥ネット（下写真）です。堆肥もカラスにとってエサになるため、徹底的にカラス対策するには堆肥舎まで防鳥ネットで囲う必要があります。



対策②「天敵＝人間」を再認識させる

カラスは農場が安全だと認識してしまうと、どんどんやってきて度の過ぎたイタズラや、あちこち糞をします。

カラスが農場に入る危険と思わせるための道具に、テグス、目玉模様、カラスの死骸模型などがあります。ただこれらは一時的にカラスが寄りつかなくなるだけで、効果は長く続きません。



そもそも、農場に来るカラスにとって、天敵は人間です。来たら徹底的に追い払うことが一番の対策になります。声、物を投げる、ロケット花火などでカラスを追い払いましょう！続けるうちにカラスが「人間がこわい」と思うようになり、農場に寄りつかなくなります。

「でも人間がいない時に来てる？」いえいえ、そこで防鳥ネットですよ！

基本を押さえた2つの対策が、一番効果があり長続きしますよ！

カラスは賢く、愛嬌がある鳥と（個人的には）思っていますが、農場に来るカラスは別です！毅然とした態度で、カラスを追い払い、病気や被害を防いでいきましょう。

(参考：環境省自然環境局「自治体担当者のためのカラス対策マニュアル」より)

(津山家畜保健衛生所)

〔共済連だより〕

家畜診療日誌

蒜山家畜診療所 森本 高輝

中国山地の主峰・大山より東側にそびえ立つ蒜山三座の南斜面中腹に蒜山高原があり、その中心部に私達が勤務する蒜山家畜診療所があります。この蒜山地方は中国地方有数の豪雪地帯であり、冬の時期は12月から3月と長く、標高500～600メートルの高原地で気温も一日中低くて寒い日が続きます。吹雪の日は視界を遮られ地域全体が閉ざされてしまいます。この地方に60年前に草地酪農発展の期待を担ってジャージー牛がニュージーランドから導入され、全国一のジャージー牛の産地となりました。その後乳量の多いホルスタイン種も導入されました。現在でも全国一を維持していて、私が担当する農家はほとんどジャージー牛飼養農家です。このジャージー牛の特徴は乳量が日量20kg程度と少ないですが乳脂肪は高く、食欲と好奇心が旺盛、分娩が上手な牛です。しかしカルシウム代謝が下手で胃腸障害でもよく起立不能に陥ってしまいます。また暑熱には強い反面寒さにはホルスタイン種に比べて弱いようです。

この蒜山のきびしい冬はジャージー牛にとって大きな試練です。それは低カルシウム血症による起立不能症と子牛の下痢症です。近年、低カルシウム血症は乾乳期などの飼養管理の改善で年々減少していますが、この寒い時期に発見、治療が遅れると治りにくく、時には死亡してしまいます。もうひとつは子牛の下痢症です。出生時の体重は20kg程度で小さく、この寒さの中で下痢や呼吸器疾患の発見、治療が遅れるとすぐに死んでしまいます。本当にあっけなく死んでしまうというのが率直な印象です。ではなぜそうなるのか、私なりに推測してみました。1つ目としてジャージー牛は自力分娩する場合が多く、農家の皆さん

にも安心感があって発見が遅れて低体温症に陥り、体力を奪われていることが多いという点があげられます。2つ目として出生時の体重は黒毛和種より小柄で1回の哺乳量が少しでも過剰に給与されると影響を受けやすく、また代用乳のわずかな温度変化も簡単に下痢をしてしまうことがあげられます。

やはり、極寒の蒜山では下痢をさせないように管理するのが一番であると実感しています。日頃農家の皆さんに話している点を紹介したいと思います。

1 栄養状態の良い子牛をつくるため乾乳牛の栄養状態に注意し、幹乳期用配合飼料の給与、後期はサイレージ給与を中止（全期中止が望ましい）し、カリウムの少ない乾草の給与をおこなう。

2 下痢5種予防ワクチンの母牛接種は子牛の下痢予防だけでなく、大腸菌群性乳房炎ならびにコロナウィルスによる伝染性下痢症にも予防効果があり全頭接種をおこなう。

3 分娩を発見したら素早く清拭して乾燥、保温をおこない、低体温による衰弱死を防ぐ。

4 掐乳牛舎の通路等での繁留はやめ、カーフハッチ等独房での飼育が望ましい。

5 初乳内に免疫物質が多く含まれている出生後数時間内には哺乳をおこない、血乳や乳房炎乳は飲ませず、初乳代用製品を活用して哺乳直後の給水はおこなわない。

6 冬季では高カロリーの代用乳を使用し、過剰給与に注意してもらう。

以上様々な改善をお願いしていますが、経済的な理由やジャージー子牛、特に雄子牛の価値が低いために思うように進みません。今後もよい改善策がないか模索していきたいと思っています。

〔普及の現場から〕

2014年 勝英地域の畜産の取り組み

勝英農業普及指導センター

2014年を振り返ると、勝英地域の畜産で様々な新たな取り組みが行われましたので、それらの取り組みについてご紹介します。

1 牛舎の屋根に太陽光パネルを設置

勝央町の権田牧場は、暑熱対策として牛舎の屋根ほぼ全面に太陽光パネルを設置しました。屋根上だけでなく、牛舎側面にも遮光率90%の寒冷紗を設置しました。

普及指導センターが気温36℃時に遮熱効果を確認したところ、屋根裏面の温度はパネルの無い所よりも約10℃低く、牛舎内の気温も外気より約3℃低い結果でした。

発電は5月末から開始しました。8月は雨が続き計画以下でしたが、全体の発電量は計画の12%増の約121 kWhでした。



屋根上の太陽光パネル

2 分娩通報システム「牛温恵」の導入

分娩予定が近づくと和牛農家のみなさん
は夜も眠れず見回りする日々が続きご苦労
されていると思います。その苦労を軽くす
る通報システムが近年開発され、2014年勝
英地域でも4戸が導入しました。

システムは、温度センサーを臍内に装着し体温の変化により分娩や発情を感じるもので、分娩のおよそ24時間前に1回目、破水後に2回目の通報が携帯メールで届きます。実際使用した結果、1回目の通報は

分娩の5～20時間前とばらつきましたが、何日も監視を続けていたことを思えば、体も心も楽になったとみなさん実感されています。

導入に際しては、「繁殖性モデル構築事業」という国の補助事業を活用しています。この事業では、通報システム導入と一体的に血液成分分析なども行い、牛の健康面から繁殖性向上を図る取り組みを行います。



温度センサーの取り付け

3 分娩前乳房炎検査の実施

最近高梁地域などで実証された分娩前乳房炎検査に勝英の酪農支援チームでも取り組みました。

酪農家さんでは使い慣れているはずのPL

テスターを用いますが、試薬の量や取り扱い方などあやふやな点が多いことが判明しました。

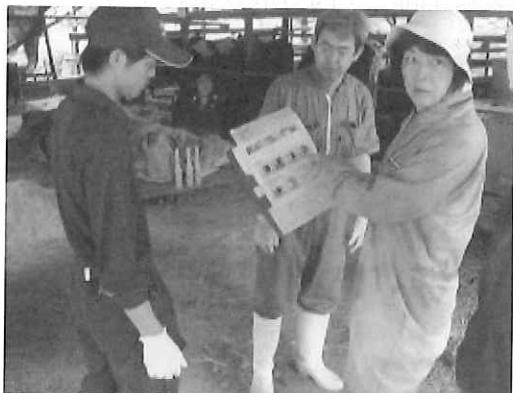
そこで、正しい使い方マニュアルを作り全戸に配布しました。



検査をする上の注意点

- ・採尿用容器は手洗いをされた上で使用しましょう。
- ・尿サンプルをうるさい環境で採取するのを防ぐために、必ずした時はシャワーを浴びて床穴から水を飛ばして下さい。
- ・尿試験用具(尿コロイド)は尿を直接落すと水溶けてしまうので、1プロレッジ目は吐けて下さい。
(尿がおもに尿試験用具にかかるのが問題です)
- ・尿を直接尿コロイドにかけたままを落すことをされない!
- ・尿を直接尿コロイドにかけますと、2回以上おこなう場合は尿が飛んでしまうことがあります。
- ・糞便には便器でしゃしゃくします。糞便でなくして尿を落すことで、糞便を落す気にならぬこともあります。糞便を落す気にならぬと(落さない)。
- ・尿試験用具は毎回1回ずつ、24時間以内に、茎葉薬局にて販売してある専門内閣のものを落すように。
- ・尿を落す場合は尿がまみりやすいので、尿試験用具を落すから落すましょう。

1戸の農家で2015年10月から21頭検査した結果、57%が乳房炎と診断されました。その内初産は11頭でしたが65%が陽性でした。初産はまだ搾乳していないので油断しがちですが、乳房炎との戦いはすでに始まっていると認識を改めなければと実感しました。初産で早期治療を行った牛は、その後、体細胞も安定し続けており、「乳房炎は早い内に叩く」に限ると思います。「未経産牛の搾乳をするなんて言語道断！」とのご意見も多いと思います。搾乳前には脅かさないよう優しく声をかけて接することが大事です。また、搾乳後にはディッピングをお忘れなく！



参加者で手順を確認し検査実施

4 粘着シートでサシバエ捕獲

2014年、サシバエの発生量は平年並み？でしたが、秋頃いつ見ても牛が足をバタバタしている、放し飼い牛舎では牛が1カ所に集まっている等の様子をよく見ました。

そこで、何かしら対策はないかと手軽に設置できるマスカピという粘着シートを9月末から10月末に2戸の農家（酪農と繁殖和牛）に設置してみました。

捕獲数は日によって異なり、晴天日には1枚で一気に千匹以上捕獲しました。その日はそれだけ獲ってもまだまだ飛んでいるので、恐らく数万匹は牛舎にいると推定できます。サシバエは明るい場所を好むので、天気の良い日を選んで、日当たりの良い場所に多めにシートを置いておくと効果的に捕獲できるでしょう。

ただし、成虫よりも幼虫の方が動きも少なく、発生場所も限られているためずっと退治しやすいです。週1回、脱皮阻害剤を尿溝の角やバーンクリーナーの出口などに散布している牧場はサシバエの発生数がかなり少なかったです。



数時間でサシバエ千匹捕獲

5 その他の取り組み

その他にも酪農支援チームで「繁殖ボード」を活用した繁殖管理の改善、レジンを用いた飼槽改善など行いました。また、肉用牛子牛資質向上のための巡回指導、奈義町でのイネWCS「たちあやか」栽培実証などなど、勝英地域では厳しい畜産の現状を少しでも改善しようと日々新たな取り組みを続けています。



飼槽をレジンでつるつるに

[技術のページ]

受精卵移植を活用した和牛全共への取り組み

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 改良技術研究室

1. はじめに

「高めよう生産力 伝えよう和牛力 明日へつなぐ和牛生産」をテーマに、第11回全国和牛能力共進会が平成29年9月に宮城県で開催されます。「全国和牛能力共進会」は、和牛の能力と斉一性の向上を目指して、5年に1度開催される全国規模の共進会で、それぞれの時代における和牛生産と改良上の重要課題を反映したテーマが掲げられます。今大会には、和牛が持つ優れた能力にさらに磨きをかけるとともに、繁殖・肥育両面から生産効率を向上させ、日本の食文化を支える和牛の魅力を広く発信していくといった思いが込められています。



第10回大会の様子

和牛のオリンピックとも呼ばれる本大会への出品に向け、畜産研究所では、家畜保健衛生所及び県民局等の協力の下、平成25年度から肉牛の部の素牛生産に向けた受精卵移植（ET）の取り組みを進めてきましたので、その内容を報告します。

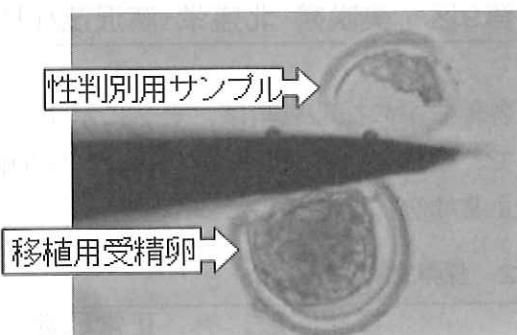
2. 和牛全共とET

なぜ、肉牛の部にETを利用するのだろう、と疑問に思われる方もおられるかもしれません。実際に、多くの県が人工授精

(AI)によって、素牛を生産しています。では、なぜ本県ではETなのでしょう？

その答えは、ETを利用すると、肉牛の部の出品条件に合った素牛を効率的に生産できることにあります。全共では、通常の肥育期間より短い生後24か月齢未満で出品する条件があります。さらに上位入賞するには枝肉重量の下限が決められています。そのため、発育の良い去勢牛を、できるだけ24か月に近い状態で出品できるようにすることがカギとなります。

AIをすると、1頭の雌牛から1頭の子牛しか得られませんが、ETを利用することで、一度にたくさんの子牛を生産できます。また、同じ時期に生まれた兄弟を比較して、より良い1頭を選ぶことが可能です。さらに、性判別精液を利用した採卵や受精卵の雌雄判別を行うことで、効率よく目的とする性別の産子を得ることができます。そのため、優秀な雌牛を有効に利用して素牛を生産できます。



また、もうひとつの重要なポイントは、本県では、乳牛を借り腹とした和牛受精卵移植が広く普及しており、全域で移植が可能な体制が整っていることです。県下のETによる和牛生産頭数の推移は図1のとおりで、ET産子は年々増加傾向にあります。

本県では、出品月齢を考慮して、わずか2週間余りで大半の移植を終わらせてしまいますので、この基盤は非常に重要です。移植させていただく農家の皆様のご理解とご協力なくしては、成立しません。

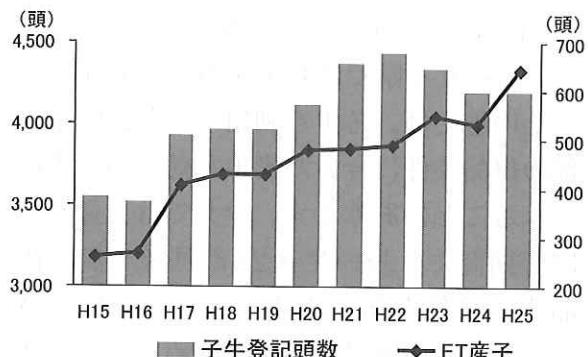


図1 本県のETによる和牛生産頭数

3. 採卵

第11回大会に向けた採卵は、県下全域の農家と畜産研究所で飼育されている優良雌牛に出品候補種雄牛の「北盛栄」、「藤沢茂」、「美咲鶴」を交配して平成25年度から26年度に行いました（表1）。

表1 出品候補種雄牛

出品区	種雄牛名
第7区	北盛栄
第8区	藤沢茂
第9区	美咲鶴・北盛栄・藤沢茂など

各種雄牛の採卵成績は、表2に示すとおりで、全体で109回の採卵を行い、930個の正常卵を採取しました。

表2 採卵成績

	採卵回数		正常卵数	
	所内	農家	所内	農家
北盛栄	30	17	276	288
藤沢茂	26	12	163	63
美咲鶴	16	8	71	69
合計	72	37	510	420
	109		930	

前述したとおり、効率的に雄子牛を生産するために、採取した受精卵の雌雄判別を行い、「北盛栄」と「藤沢茂」は、雄選別精液を活用した採卵も行いました。

4. 移植

受精卵の移植は、分娩時期を考慮して、平成26年12月上旬を中心に行いました。

表3のとおり、雄受精卵（選別精液を含む）は、北盛栄128個、藤沢茂80個、美咲鶴33個の計241個を移植し、性不明卵は、北盛栄98個、藤沢茂33個、美咲鶴33個の計164個を移植しました。

受胎状況については、現在、取りまとめをしているところです。

表3 移植状況

種雄牛名	♂	不明	合計
北盛栄	128	98	226
藤沢茂	80	33	113
美咲鶴	33	33	66
合計	241	164	405

5. おわりに

第11回大会に向けた取り組みを始めてから、あっという間に2年が過ぎ、無事に移植までを終えることができました。採卵及び移植にご協力いただいた農家や関係機関の方々に深くお礼を申し上げます。今、宿っている命が無事産まれて来ますように、移植をさせていただいた農家の皆様、母牛の管理をよろしくお願ひいたします。



〔畜産現場の声〕

素人から牛飼いを始めて

総社市 本行 孝至（肉用牛）

私は現在、高梁市にある牧場で従業員として勤務しながら、吉備中央町で個人的に牛舎を借りて、繁殖和牛7頭とF1を肥育牛として4頭の計11頭を飼育しています。

畜産業界で働き始めたのは、今から5年前の平成22年、私が25歳の時からです。それまで私は、幼いころから「牛を飼ってみたい」という漠然とした憧れだけはもっていましたが、実家や知人に牛を飼っている人は一人もおらず、畜産の業界についての知識も全く無い、本当に何も知らない、畜産と関係のない人生を送っている人間でした。そんな時、現在も働いている、広島牧場岡山分場の求人を見つけ、「牛を飼ってみたい」というそれまでの願いを叶えるため応募しました。

当時、乳用種の肥育をしていた牧場で従業員として働いていくことで、少しずつ畜産の業界の知識や、人とのつながりを得ることが出来ました。国産牛と和牛の違いすら分かっていなかった私にとっては、牛の飼い方や、出荷の流れや関係する家畜商の方や市場の仕組みなどすべてが勉強となりました。

ただ徐々に、「雇われた単なる作業員ではなく、自分の牛をもって独立したい」という気持ちが強くなってきました。そこで、働きはじめて1年ほど経った頃、自宅と勤め先のちょうど中間地点のある牛舎を借りて、和牛の経産牛2頭とホルスタイン去勢素牛2頭を購入し、肥育を開始しました。それから徐々に肥育の牛を増やしていき15頭まで何とか増頭したのですが、資金や月々の飼料費などの問題で、牛の数をそれ以上に増やすことに壁を感じていました。そんな時、畜産協会の主催する平成25年度の和牛入門講座に参加し、繁殖の

経営についての講義や、繁殖農家の方を訪問し、それぞれの環境や事情に合った牛の飼い方を見る事ができました。そして、ちょうどその頃、職場の業態が肥育から、乳牛の育成と和牛の繁殖を行う牧場に変更されたため、繁殖についての知識や経験を積むこともできましたこともあり、これからの方針を、「繁殖母牛を増やす繁殖経営に向かおう」と決意しました。

ただ日中を従業員として働きながらだと、どうしても朝と夜しか自分の牛の面倒を見る事ができないなどの不利な点もあります。しかし勤め先では牛を約200頭飼養しているので、病気や難産など様々な場面に遭遇することができ、経験を積むことが出来る点は、自分の牛を飼う時に役に立つことが多いので、メリットとして感じています。

これからの目標として考えている事は、まず繁殖母牛の頭数を増やしていくことです。母牛や子牛の値段が高騰している中、購入するのは難しいので、生れた雌を残すことでも少しずつでも増頭することを考えています。

また、和牛市で今まで出荷した牛は3頭いるのですが、平均価格に少し届かなかつたため口惜しい思いをしています。四ツ☆子牛という基準があるので、それを目標に、少なくとも平均以上を目指し、よりよい子牛を生産したいと思います。

他には、牛舎に隣接する土地を柵で囲って、牛の運動場を作成するなど環境の整備を図ることや、現在はすべて購入飼料を使っているので、ゆくゆくは自給飼料の栽培など、やりたいことはいろいろ頭に浮かんできます。それらを考慮しながら、規模拡大を目指し地道に頑張っていこうと思っています。

〔食品流通業界の声〕

岡山県産畜産物のマーケティングについて ～(株)天満屋ストア～

(一社) 岡山県畜産協会

岡山、広島両県で「天満屋ハピータウン」12店舗、岡山県下で「ハピーズ」10店舗を展開し、食料品、衣料品、雑貨等を販売されている天満屋ストアの生鮮食品部門の原課長、大平、草野両バイヤーに最近の畜産物の消費動向や取り組みについてお話を聞きしましたので、その概要を掲載します。

1. 最近の畜産物に対する消費動向等

畜産物の消費量は、増税後減少しているが、鈍っているという状況でもない。安全、安心で产地が分かる商品への関心が高い。豚肉や鶏肉の安価な部位は消費が伸びている。年輩の方は価格が高くても美味しいものを選ぶ傾向があり、消費層は二極化している。

今般、鳥インフルエンザが県内で発生したが、消費者が購入を控えるなどの影響はでていない。行政の迅速な防疫措置により、生産されている鶏卵、鶏肉の安全性が確保されているということが消費者に正しく理解されているからだと思う。牛肉も、BSEや口蹄疫の影響は少なくなり安全であることが認知されている。

牛肉等国産の畜産物の仕入れ価格は、子牛や飼料の高騰、肥育頭数の減少により上昇していることから生産者には安定した供給を最優先してほしい。

輸入牛肉についても、アメリカ産が、干ばつの影響で飼育頭数が1割減少したことや中国等新興国での需要が拡大し買い負けをしていることなどにより輸入量が減少し価格が上がっている。オーストラリア産も生産頭数が減少しており、1月にEPAが発効し関税率の引き下げがなされたが原価が上がっているため、業者によると輸入価格はもう一段階上がるのではないかと言われている。そうすると国産の乳用種肥育牛の牛肉とほとんど価格が変わらなくなるのではないか。価格差がなければ、輸入牛肉より国産牛肉を消費者は選択する傾向が強まるものと思う。鶏卵は価格が上がっているが、日常生活に必要なものであるため消費量は

減少していない。牛乳は、夏季に一時不足することがあるが、そのほかの期間は問題がない。吉備高原牛乳は生産者が限定されており消費者に安心感をもって頂いている。

2. 天満屋ストアでの取り組み

県産の畜産物をしっかり使うことを主に考えている。和牛肉は、県産を取り扱っている。和牛肉は販売量が少し減少しているが今後は構成比を上げていきたい。和牛以外の品種では、大半が乳用種の取り扱いである。乳用種は、県産のみでは確保できないため、北海道と西日本を中心に取り扱っている。豚肉は、従来は愛媛県産を使用していたが、昨年3月から県産に切り替えた。SPF豚・ピーチポークは、味がさっぱりしているので女性には好評である。県産は2割程度で、その他は西日本から集めている。県産へのシフトへの反応は、美味しいという声がある反面、慣れ親しんだ味の方が良いとの声もある。

今後とも、県産の畜産物の販売促進会を店舗で月1~2回開催し、PRに努めて参りたい。

3. 生産者に期待すること

県産和牛肉はA4、A5規格が多く品質は良い。中には、子牛が高いため肥育期間を延ばし枝肉重量が大きくなりすぎて扱いにくいものもある。出荷頭数が減少しているため安定した出荷を望んでいる。豚肉、鶏肉は品質にこだわった、例えば平牧三元豚のような商品がほしい。

現在は、商品が安全安心であることは当たり前になっており、県産についても、給与するエサや肉質にこだわった商品を開発してほしい。そうすればリピーターも増え、消費が拡大、その結果として生産拡大にもつながると思う。当社としては、業者様の協力を得て食育、料理教室、工場見学を行う他、岡山県産フェア等を開催し、県産畜産物の認知度を高める取り組みをしっかりとやっていくので、生産者の皆様との情報交換も密にお願いしたい。

[共済フレッシュさんの声]

真庭家畜診療所 富永 由香

私が初めて牛に出会ったのは祖父の家の近くの牛舎でした。小さいジャガイモを入れた袋をひきずりながら牛舎に入ると、たくさんの大きな顔がこちらを見下ろしていました。手を出すと大きな黒い舌でなめられ、腕がベタベタになりました。舌がザラザラして少し痛かったような記憶があります。

そんな思い出を追いかけて大阪を離れ牛の獣医になり、二年近く経ちました。一人での診療、担当農家を持つこと、夜間診療、野生のイノシシやサル、車が凍るほど寒さ、前が見えないほどの吹雪、滑っていく車…。次から次へと「人生初」がやってきて、あっという間に月日が経ってしまいました。

大学時代の私の“牛の獣医”に対するイメージはというと、白衣を着て颯爽と登場し、ささっと聴診や直腸検査をこなして診断を下し、スマートに治療を行い爽やかに去っていく。そして次の日には見事な効果が現れる！というようなものでした。冗談のように思われるかもしれません、本當です。しかし現実は厳しく、バタバタと登場し、「あれー？」「うーん？」といいながら診断し、糞まみれになって去っていくのが実状です。あのイメージに近づくには長い長い修行が必要なのだということを痛感しています。

そんな私にも牛の獣医になってよかったですな、と思う事がいくつかあります。1年ほど前になりますが、子牛市場に行く機会が何度かありました。セリを終えた子牛たちが農家さんに連れられ次々と退場してきます。その中に知った顔の農家さんがおられると「今日はどうでした？」などと話をするのですが、「これ治療してもらった牛よー」や「夜中にひっぱってもらった子牛今日高く売れたよー」と教えてもらったことがあります。少し思い出してみると何だか見覚えのある耳標番号。よく見てみると

とあの時の面影があるような…。私が診た時には小さく頼りなかった子牛がたくましくなり、元気に大暴れしている姿を見ているととても嬉しく、何だか誇らしく思えます。

現在私が配属されている真庭家畜診療所の管内には和牛が多く、大学の勉強には出てこなかった“種雄牛”的話がよく出でています。どの種だと増体がいいだとか、どのかけ合わせがいいだとかいう話を、よく農家さんや授精師さんに教えてもらいます。種によって肉質だとか体重が違う、というのは何となく知っていましたが、牛の性格まで全く違うということには本当に驚きました。和牛に限らずですが、ただ種をつければいいというものではないということに、獣医になってついぶん経つから気が付きました。最近は少しづつ種の話についていけるようになりましたが、何十年ものキャリアを持つ農家さんや授精師さんには全く及ばず、「牛」の世界の底知れぬ奥深さにただただ驚かされるばかりです。

時には心が折れそうになりますが、元気になった牛達が私を見て必死に逃げていく姿を糧に、これからも日々努力していきたいと思います。最後に、何もわからず岡山にやってきた私をあたたかく見守り、励ましてくれた方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



〔ホットニュース〕

吉備中央町エコセンター(堆肥処理)改修工事完成 ～家畜排せつ物処理施設ストックマネジメント事業～

(一社) 岡山県畜産協会 価格安定部

はじめに、ストックマネジメントとは聞きなれない言葉ですが、平成23年3月の畜産便りで事業の内容が紹介されていますように、資産（ストック）を最大限かつ効率的に活用し、利益を得るように管理（マネジメント）するという経済用語です。簡単に言えば機能診断評価を行い、保全対策工事を行うことです。

今回、吉備中央町においてストックマネジメント事業を実施しましたので、その内容について紹介させていただきます。

まず平成25年度において機能診断評価を行い、これに基づいて平成26年度に保全対策工事を実施しました。その内容は次の通りです。

吉備中央町は、中山間地域の中では土地利用型作物の栽培が盛んな土地柄であり、水稻と黒大豆の県下有数の産地となっています。これらの土地づくりに欠かせない堆肥については、町内の畜産農家から排出される牛糞を原料として吉備中央町エコセンターで堆肥が生産されています。この施設は平成11～12年度に整備され、町内へ良質な堆肥を供給していますが、建屋においては母屋、屋根等に破損や劣化が見られるとともに、機械施設（攪拌機）については金属の腐食が著しく、毎年かなりの補修費を投じていました。

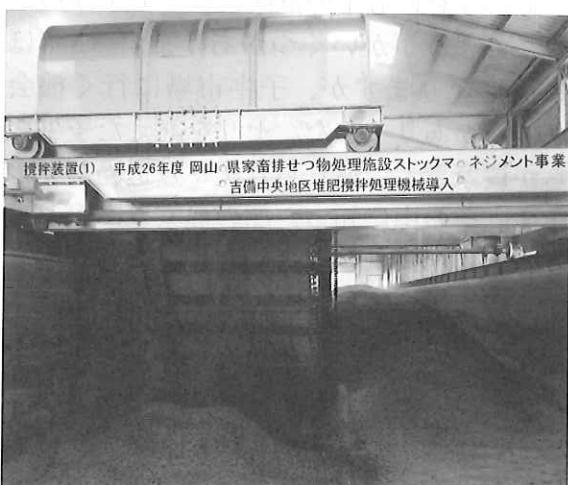
そこで、当該施設の長寿化および管理コストの低減を図るため、効果的で効率的な補修・補強等による機能保全対策工事を実施しました。保全対策工事の順序としては、最初家畜ふん尿の持ち込み量の少ない7月

から10月初旬までに攪拌処理機械の交換を行い、次に屋根材の取り替え等の工事を行いました。この屋根材の取り換え工事については、設計コンサルタントに設計委託を行い、関係機関とも十分な協議を重ねながら順次施工しました。

また、当該工事現場は、住宅地より比較的離れた場所に位置しており、騒音等の地域住民への影響はないと思われましたが、工事開始時には、周辺住民に対して、工事内容を明示し周知の徹底を図りました。

工事については、機能診断評価時に確認されなかった諸問題も発生しましたが、ストックマネジメント事業特有の縛りがある為、思うような変更処理も行えませんでした。何はともあれ、無事に事業を完了することが出来ました。

終わりに、ストックマネジメント事業を実施して、既存施設の有効活用が図られたことは今後の維持管理費の低減・耐用年数の延長に繋がるのではないかと思います。今後も各機関でこのストックマネジメント事業が実施されることを期待しています。



[お知らせ]

平成26年度和牛シンポジウムの開催について

(一社) 岡山県畜産協会経営指導部

和牛シンポジウム実行委員会では下記のとおり平成26年度和牛シンポジウムを開催します。多数のご参加をお待ちしております。

1 開催日時：平成27年3月26日(木)

受付：12時30分～

講演等：13時～16時00分

※昼食は済ませておいでください。参加料は無料です。

2 会場：久世エスパスセンター エスパスホール

真庭市鍋屋17-1番地 TEL0867-42-7000

3 講師等：I 講演 株式会社松永牧場

専務取締役 松永 直行 先生

II 紹介 岡山県農林水産総合センター畜産研究所

一般社団法人 岡山県畜産協会

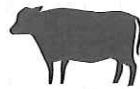
【申込方法】 生産者の方は地元JA経由で全農(TEL0867-42-5333)

その他の方は事務局(一社)岡山県畜産協会までお申込みください。

TEL086-234-5981 FAX086-234-6031



オールインワンが自信を持ってお届けします



ベストセラー ボバインシリーズ



Bカルチン入りビタミンADE
ボバインβリキッド



日本初!
GQ100
生産別入り混合飼料

口から与える簡単・便利な粒度の一本
BOVINE PASTE ベストセラーボバイン



世界最高純度の
クリスタル・ロック・ソルト
ボハイインシリード

乳牛・肉牛飼料の専門メーカー
株式会社オールインワン

中国支店 T710-0826 岡山県倉敷市老松町1丁目2-40-101
TEL (086) 427-6300 FAX (086) 427-6011

Takanashi



タカナシ 倉敷牛乳

岡山県産生乳限定

タカナシ乳業株式会社 横浜市旭区本宿町5 お客様相談室 ☎ 0120-369-059
www.takanashi-milk.co.jp 売上日・祝日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00



ふるさとメッセージ

村上 洋介（帝京科学大学教授）

はじめに：私は、昭和25年に久米郡の現美咲町大坪和の地に、定時制農業高校教員の二男として生を受け、36年間国の研究機関で家畜伝染病の研究に従事したのち、平成22年に退職、現在は東京で大学に勤めている者です。郷里を離れて久しいのですが、このたび「岡山畜産便り」に寄稿する機会を頂きました。ふるさとの皆様に感謝しつつ、僭越ながら技術面で家畜防疫に関わった経験を述べさせて頂きます。

私の幼児期には、典型的な中山間地である県北の農家ではどの家でも牛が飼われ、狭い田畠の耕作の担い手になっていました。牛は家族同様で、病気になれば子供心にも身内の病気と同様に心配が絶えません。こうした時に大型バイクに跨がり診療鞄を携えて往診して下さる獣医さんは子供の眼にはあこがれの存在でした。地元の小・中学校、津山の高等学校を経て、同じ環境で育ち先に獣医師となった兄の後を追うように、昭和44年に山口大学農学部獣医学科に進学しました。大学では牛の異常産の大流行を目の当たりにしたことから、卒後は研究の道を志し、農林省獣医職採用試験を受け昭和50年に家畜衛生試験場（当時）に採用となりました。

国内防疫に取り組んで：家畜衛生試験場での最初の約10年間は、本場（東京都小平市）、北海道支場（札幌市）及び東北支場（青森県）で、主に日本脳炎や豚パルボウイルスによる豚の異常産、牛の下痢・肺炎の研究に従事しました。わけても支場勤務は当時国内で発生する家畜疾病の多くを経験する貴重な場となりました。家畜の病気で苦しんでおられるにも拘わらず、その都度、農家の皆様や獣医師の皆様から問題解決の糸口となる貴重な意見や情報を教えて頂きました。このことは、新米研究員として研究の成果を必ず現場に戻すことを肝に銘じる機会ともなり、今でも当時のご恩は決して忘れる事のできないものとなっています。またこの期間には、職場の個性豊かな

上司や支場のある地元の獣医系大学の先生方との出会いがありました。振り返れば、多くの実学の師に恵まれてワクチン開発や不明疾病の解明に取り組んだ無我夢中の時期でした。

国際防疫に取り組んで：支場勤務を終えた昭和62年の春に、同じ試験場の隔地研究部である海外病研究部に異動しました。口蹄疫などの海外伝染病を扱う研究部は、全国からの交通の利便性と近隣に畜産施設が少ないとから、旧本場跡地の東京に残されていました。

わが国における海外伝染病の侵入と蔓延防止技術の開発は、言うまでもなく日本の家畜防疫施策の一翼を担う水際防疫を支えるものです。当時はまだ新しい貿易の枠組みは導入されてはいなかったものの、家畜や畜産物が輸入されてくる地域は世界に拡大し、口蹄疫などの海外伝染病の侵入リスクは高まっていました。しかし、かつて欧洲ではワクチン工場などから病原体が漏れる事故が起きており、現在ではこの方針は撤廃されたものの、当時、国は政策として研究機関でも感染性のある病原体を扱うことを禁じていました。

そこで、職場仲間と分担しながら発生国や各国の研究機関などを巡り、効率は悪いのですが国内研究と国外研究を繋ぎ合わせて技術開発を行い有事に備えていました。92年振りに発生した平成12年の口蹄疫の際に活躍した種々の診断検出の手法も、実はこうして間一髪で間に合わせたものです。現在では、施設整備も進み、病原体を用いた様々な防疫技術の開発が行われています。しかし、口蹄疫ウイルスは変幻自在のウイルスで、発生の度に原因ウイルスの性状は違いワクチンさえ効かないものが出現します。また、その地の飼養密度や飼養畜種の違いで流行の規模も様変わりします。どの地域にどのような性質を持つ新しいウイルスが出現したのかなどは防疫技術の開発にとっては貴重な情報です。そのため国

際的な技術交流はこれからも益々重要になるものと思われます。

ところで、こうした交流のなかで大切な教訓を得ることもありました。その一つを台湾の研究機関OBの言葉として紹介します。台湾では平成9年に70年振りに口蹄疫が発生しました。前年の日本向け豚肉輸出高は約28万㌧（当時の邦貨換算で約4,000億円）、日本人の食べる豚肉の実に約20%が台湾産でした。しかし、この発生により、その利益は一瞬にして失われます。聞けば、かつては台湾でも、日本の昭和40年代と同様に、頻繁に県単位で防疫訓練を実施していたそうです。しかし、それから数十年を経て経済活動が優先されるにつれてこの訓練も行われなくなり次第に関係者の危機意識が薄れたとのこと。家畜防疫は人の記憶との闘いでもあると言えるのではないでしょうか。

畜産物の安全性確保に取り組んで：平成13年度から家畜衛生試験場は独立行政法人の動物衛生研究所となりました。これに伴い研究現場を離れ研究所の企画運営部門に異動となりました。その直後にBSEが発生しました。

当時研究所には10年来のBSEの国際共同研究の実績がありましたが、BSE問題は食品の安全性の根幹に関わること。消費者の不安を払拭するためにも、謎の多いBSEの研究を進展させるようにとの担当副大臣の厳命があり、施設整備も含めて大型プロジェクト研究の企画を担当することになりました。国会質問への技術的な対応、国内初の大型高度封じ込め施設の海外調査と施工、研究実施に関わる地元住民との合意形成、研究課題の整理と予算申請に必要な関連府省との連絡調整など、従来の行政姿勢が厳しく問われる中、研究所でも休日昼夜を問わず慌ただしい対応が続きました。しかし、平成25年には関係者の多大のご尽力により日本は無視できるBSEリスクの国に復帰しました。長い年月を要するBSE研究ではありますが、ひとつ一つ科学的根拠を示すことで研究所としての役割も果たせたようにも思います。

こうして平成22年に研究所を退職するまでの約10年間、口蹄疫、BSE、高病原性鳥インフルエンザ及び豚コレラの疑似症例の発生が続き、わが国の家畜防疫史でも特筆される時期に研究所の管理運営に関わることになりました。

おわりに：近年、アジア近隣国では、人口の急増と所得水準の向上が需要を招く形で家畜・家禽の著しい増産が続いています。畜産革命と呼ばれるこうした状況が続く一方で、この地域の家畜防疫という防波堤の役割が十分に追いついていません。このことが、近年口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの相次ぐ国内発生の遠因ともみることができます。しかも、人や物の国際交流は益々活発に行われるようになりました。観光庁の統計では、平成26年度の訪日外国人旅客は1,300万人を突破、地方空港も含め国内には週3,500便の国際線航空便が就航し、その約7割が口蹄疫など海外伝染病発生地域との間を往来しています。人口減に転じ国内消費が減速する中、訪日外国人旅客の消費に期待が膨らみます。

先頃、家畜伝染病予防法の改訂に関わらせて頂きました。飼養衛生管理基準の改訂などで関係者の皆様には当初戸惑いもあったかもしれません。しかし、日本を取り巻く重要疾病的発生状況は極めて深刻で、畜産関係者のご尽力に加え、最後は自分の家畜は自分で守り抜くことが決定的に重要なっています。家畜・家禽の健康を守ることは、安心・安全な畜産物への消費者の期待に応えることでもあります。最後になりましたが、岡山県畜産の益々の発展を心より祈念し、私からのふるさとメッセージとさせて頂きます。



プロフィル

むらかみ ようすけ
山口大学大学院修士課程修了。
平成22年まで動物衛生研究所長。
獣医学博士。厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員、文部科学省感染症研究推進委員会委員などを経て、現在は内閣府食品安全委員会専門委員、同ブリオン専門調査会座長、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会臨時委員、同牛豚等疾病小委員会委員長等を担当。

北海道乳牛市場の初妊牛価格の推移

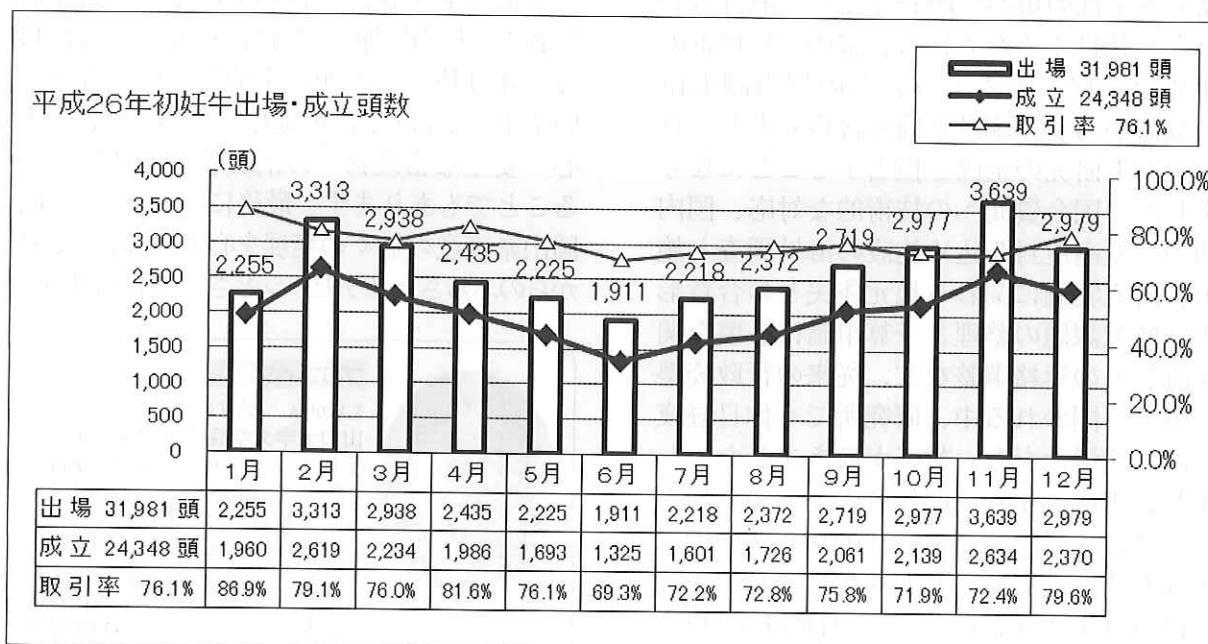
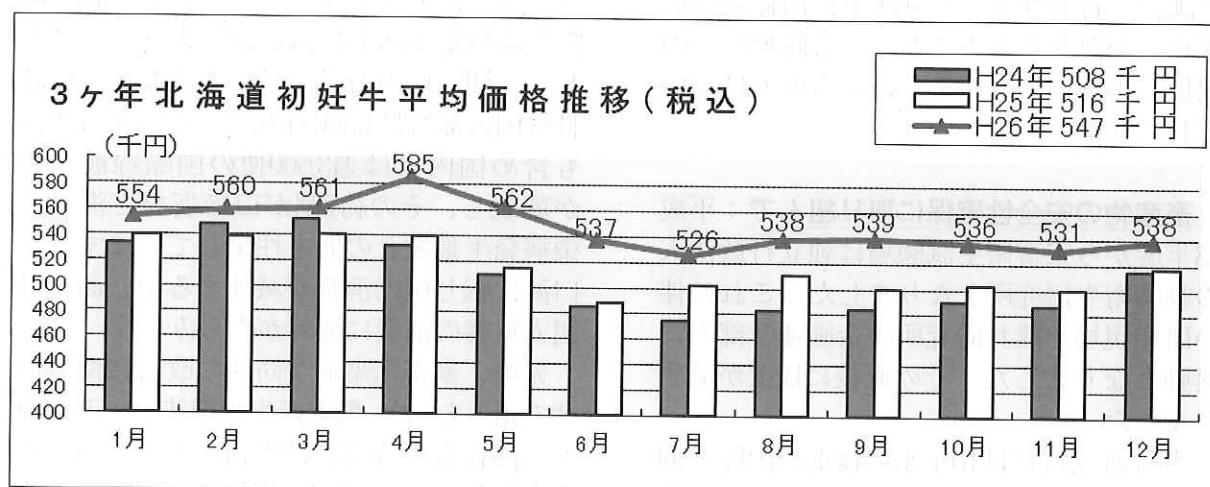
おかやま酪農業協同組合 事業本部業務課流通班

1) はじめに

平成26年度は円安傾向による飼料価格や生産資材・燃料の高騰等による生産コストの増加、加えて異常気象での牛体にかかるストレスから生乳生産量が低下し酪農経営が圧迫され、離農に歯止めが掛からない状況となっています。そのため、酪農家戸数、乳牛頭数、生乳生産量の減少が続いております。

北海道の初妊牛価格は道内需要の高まりやメガファームの継続的導入などで資源的にも少なく、高値にて推移しました（547千円）。

4月よりの値上がりは消費税分の値上げです。



2) 最近の北海道乳牛産地情報について

釧路管内（今月相場53～60万円）

2月の初妊牛動向は、4月～5月腹中心での荷動きとなるが、前倒しで遠腹が動いていることと、生乳生産の回復と新規就農者など地元の引合いが強いこと、またメガファームの継続的な導入などで相場が高騰する可能性があります。

帯広管内（今月相場53～60万円）

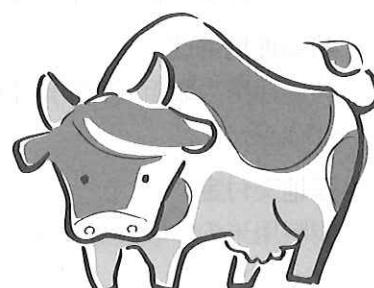
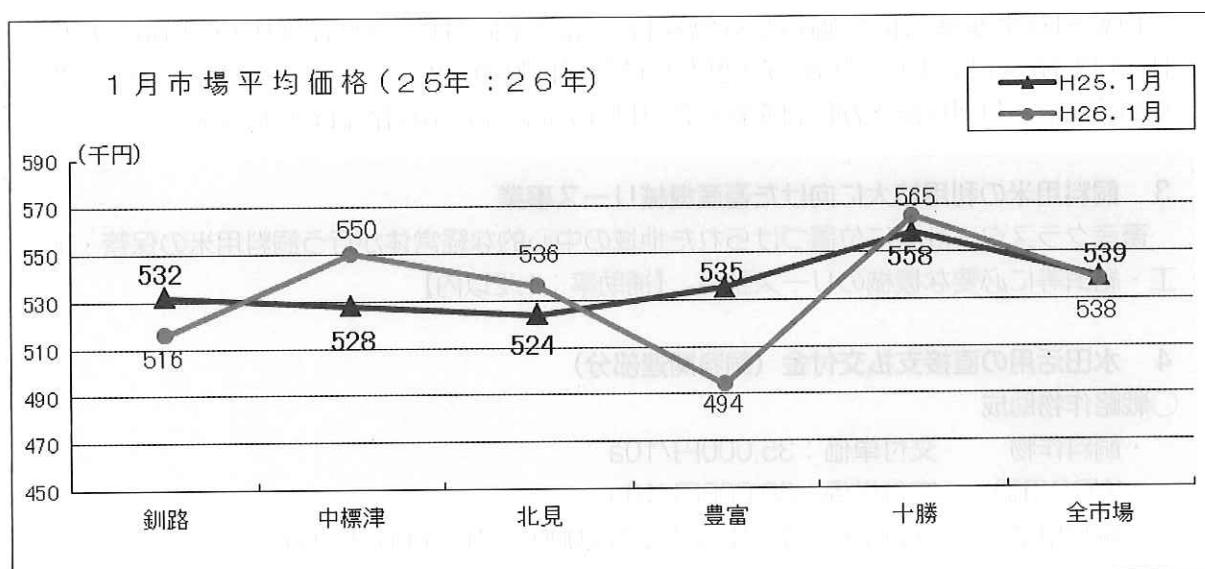
4月～5月分娩の春産みが中心となるため、道内・都府県ともに引合いが強く、価格については強含みで推移し、F1腹、ホル腹ともに高値で取引されるものと思われます。また、選別腹は資源が少ないため引き合いの強い状況が継続しそうです。

道北管内（今月相場53～60万円）

4～5月分娩が中心となります。資源的に厳しい状況でF1、ホル腹ともに高値で動くことが予測されます。特に、選別腹については、売りに出る頭数が限られている状況です。

道内総括（今月相場53～60万円）

4～5月分娩が中心となります。価格は道内需要も都府県需要も強くなる一方、出回り頭数が少ないことが予想されるため、高値が予測されます。中物～すそ物価格の上昇が予測されるため、購入条件等に余裕をもって早めの導入を検討ください。



Q&Aコーナー

(一社) 岡山県畜産協会 経営指導部

Q

自給飼料生産への支援について教えて下さい。

A

平成27年度に実施される自給飼料生産に係る主な施策を紹介します。事業内容の詳細は、決定後、行政・関係団体からお知らせします。

1 飼料増産総合対策事業のうち国産粗飼料増産対策

○高栄養粗飼料増産対策

コントラクター等による青刈りとうもろこし等の高エネルギーな飼料作物の前年からの拡大やアルファルファ等の高タンパク質なマメ科牧草の追播面積に応じた支援。【補助率：定額】

○地域づくり放牧推進事業

省力化・低コスト化を図るため、レンタカウを活用した肉用繁殖雌牛の放牧の取組や地域一体となった放牧酪農技術の向上の取組に対して支援。【補助率：定額（地域放牧利用推進）、1/2以内（放牧牛（繁殖雌牛）の導入、地域放牧条件整備）、1/3以内（放牧酪農モデル実証条件整備）】

2 飼料生産型酪農経営支援事業

自給飼料生産基盤に立脚した経営を行う酪農家に対し、飼料作付面積1haあたり15,000円を交付。また、平成27年度からは飼料作物の二期作、二毛作の2作目の面積や契約栽培により耕種農家が飼料作物を作付けする面積も、飼料作付面積に算入。

3 飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体が行う飼料用米の保管・加工・給餌等に必要な機械のリース整備。【補助率：1/2以内】

4 水田活用の直接支払交付金（飼料関連部分）

○戦略作物助成

- ・飼料作物 交付単価：35,000円/10a
- ・WCS用稻 交付単価：80,000円/10a
- ・飼料用米 交付単価：収量に応じ、55,000～105,000円/10a

○二毛作助成

主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援。交付単価：15,000円/10a

○耕畜連携助成

耕畜連携の取組（飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環）の取組を支援。交付単価：13,000円/10a

○産地交付金

飼料用米の多収性専用品種の取組に対し、12,000円/10aを地域に追加配分。

平成26年度 岡山畜産便り総目次

タイトルのあとに数字の太字は発行月、() 内はページを示す。

●特集

- ◇平成25年度岡山県の酪農経営収益動向(協会) 8(11)
- ◇飼料用米の生産、利用拡大、その課題と解決策(協会) 1(3)
- ◇平成26年度県、農業団体重点施策(畜産課、農業共済連等) 6(2)

●畜産課ページ

- ◇岡山県における酪農振興施策について 8(1)
- ◇第11回全国和牛能力共進会について(岡山県出品対策協議会) 10(1)
- ◇高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えた取組について 1(15)
- ◇県内で発生した高病原性鳥インフルエンザについて 2(1)

●県民局便り

- ◇養老牧場 オープン!!(備前県民局) 8(2)
- ◇井倉牧場「奮闘中」頑張っています!(備中県民局畜産第二班) 10(3)
- ◇畜産の町、奈義町の取り組み!(美作県民局畜産第一班) 2(3)

●家保のページ

- ◇「岡山家畜保健衛生所 家畜病性鑑定課」の業務紹介
(岡山家畜保健衛生所 家畜病性鑑定課) 4(3)
- ◇暑熱時期の繁殖対策について(岡山家畜保健衛生所) 6(11)
- ◇ふそ病が発生しました!(井笠家畜保健衛生所) 8(3)
- ◇さあ再点検しましょう!飼養衛生管理基準(高梁家畜保健衛生所) 10(5)
- ◇牛ボツリヌス症にご注意下さい(真庭家畜保健衛生所) 1(8)
- ◇カラスがやってくる!カアカアカア!(津山家畜保健衛生所) 2(5)

●共済便り(家畜診療日誌)

- ◇南部家畜診療所(斎藤愛) 8(5)
 - ◇西部基幹家畜診療所(石井さやか) 10(7)
 - ◇北部基幹家畜診療所(渡邊卓彌) 1(10)
 - ◇蒜山家畜診療所(森本高輝) 2(7)
- 技術のページ(畜産研究所)
- ◇和牛の1ショット過剰排卵処理方法について(改良技術研究室) 4(1)
 - ◇主な試験研究等について(経営技術研究室) 6(13)
 - ◇おかやま四つ☆子牛の認定率向上を目指してII
(生産性向上研究グループ) 8(8)

- ◇岡山和牛のゲノム選抜の実用化に向けて(改良技術研究室) 10(10)
- ◇新規格肥料「混合堆肥複合肥料」について(環境研究グループ) 1(13)
- ◇受精卵移植を活用した和牛全共への取り組み(改良技術研究室) 2(10)

●普及の現場から

- ◇乳房炎の早期発見で乳質改善に取り組もう
(岡山農業普及指導センター) 8(6)
 - ◇井笠地域の取組紹介(井笠農業普及指導センター) 10(8)
 - ◇まだまだ進む 千屋牛 生産拡大(新見農業普及指導センター) 1(11)
 - ◇2014年勝英地域の畜産の取り組み(勝英農業普及指導センター) 2(8)
- 共済フレッシュさんの声
- ◇岡田大志 4(6)
 - ◇富田由香 2(14)
- 畜産現場の声
- ◇肥育農家の将来を見据えて(鷹取弘泰) 4(5)
 - ◇目標は1万2000kg牛群(妹尾優佳) 6(15)
 - ◇小さな養鶏家のプラント卵への取組(梶原めぐみ) 8(15)
 - ◇和牛に魅せられて(吉川鉄三) 10(12)
 - ◇循環型農業の確立へ(長恒泰裕) 1(17)
 - ◇素人から牛飼いを始めて(本行孝至) 2(12)
- 畜産女性の声
- ◇畜産って見えにくい!畜産って高次元だ!(末澤未央) 10(13)

●消費者の声、流通業界の声

- ◇おかやまコープの地域農業と食をつなげる取り組み 6(16)
- ◇岡山県畜産物のマーケティングについて((株)天満屋ストア) 2(13)

●教育現場の声

- ◇酪農の実践的な技術・知識の習得を目指して(中国四国酪農大学校) 6(1)
- ◇新見高校における畜産教育(県立新見高等学校 生物生産科) 6(18)
- ◇平成27年度学生募集(中国四国酪農大学校) 6(20)
- ◇学生募集(岡山県農林水産総合センター農業大学校) 8(10)
- ◇高松農業高等学校における畜産教育(県立高松農業高等学校) 1(18)

●ふるさとメッセージ、県職員OB便り

- ◇坂本壽文(農林水産省OB) 10(20)
- ◇直木伸一(県職員OB) 1(23)
- ◇村上洋介(帝京科学大学教授) 2(17)

●巻頭コラム

- ◇新年のご挨拶(樋口義男) 1(1)
- ◇年頭の挨拶(中塚陽二郎) 1(2)

●お知らせ

- ◇岡山県で豚流行性下痢が発生しました! 4(11)
- ◇豚流行性ワクチンの供給開始 6(19)
- ◇牛異常産ワクチンの接種はお済みですか 6(19)
- ◇農場HACCP認証制度研修会の開催 8(19)
- ◇韓国で3年ぶりに口蹄疫が発生 8(20)
- ◇平成26年度和牛入門講座がはじまりました! 10(18)
- ◇伝染性下痢症による乳量低下はワクチンで防ぎましょう! 10(18)
- ◇畜産分野における動産担保融資(ABL) 10(19)
- ◇死亡牛搬入状況 1(20)
- ◇豚流行性下痢の再流行に注意! 1(21)
- ◇和牛シンポジウムの開催 2(16)

●ホットニュース

- ◇牧場体験ツアー開催 4(7)
- ◇酪農大学校が農場HACCPの推進農場に県内で初めて指定される! 4(8)
- ◇養豚技術研修会並びに第45回豚枝肉共励会を開催 4(9)
- ◇蒜山ジャージーヨーグルトご当地グランプリ金賞受賞 4(10)
- ◇大浦神社の競馬神事・TPPに勝つ! 8(21)
- ◇高梁市の上森亨・叔恵夫妻 全国自給飼料コンクールで入賞 10(14)
- ◇岡山県農林漁業近代化表彰の受賞 有限会社まつだ牧場 10(15)
- ◇生乳検査NOW:H26年度上期 10(16)
- ◇全国縦断いきいきネットワーク・おかやまフォーベルネット
合同研修会の開催 1(19)

- ◇アルム(株)経営発表会で農林水産大臣賞! 1(19)
- ◇第46回豚枝肉共励会を開催 1(20)
- ◇吉備中央町エコセンター(堆肥処理)改修工事完成 2(15)

●Q&Aコーナー

- ◇肉用牛肥育経営安定特別対策事業支払い方法の変更 6(21)
- ◇肉豚の価格安定制度とは 1(22)
- ◇自給飼料生産への支援について 2(22)

●その他

- ◇岡山県、農業団体等の畜産関係者名簿 4(12)
- ◇稲わらの収集・保管体系の調査について(協会) 8(17)
- ◇枝肉市況(全農県本部) 8(22)
- ◇北海道乳牛市場の初妊牛価格の推移(おかやま酪農協) 2(19)

GEA

ORION

ORION
ROUTE
PROGRAM

常に一生懸命さと高い意識を持つていてほしい。
だからこちらも信頼するようになる。

普段自分たちが気付かないことに
気付いてくれる。
どうしても機械に頼るものだから、
自分たちではどうしようもないことを助けてくれる。

常にプロの目線を持って、
牛舎を見て回ってほしい。
そして変化があったら教えてほしい。
機械に差を感じなくても、
人には違いが出る。
最後はやはり『人』と『人』。
本物だけが最後に残る。

オリオンルートプログラム ORION ルートプログラマーは、日々全国の酪農家の皆さまの下に足を運び、機器の点検を始めとした経営向上のサポートをしています。

いつも「行く」からこそ見えてくる。

関東オリオン株式会社 酪農営業部
ルートマネージャー 島田和徳

 **中国オリオン株式会社**

岡山本社 〒700-0945 岡山市南区新保680-1 TEL.086-239-1811
営業所：岡山・津山・広島・上下・鳥取・出雲・小郡・大阪

岸化学グループ

 **株式会社 正和**

代表取締役 岸 小三郎

岡山本社 〒712-8055 岡山県倉敷市南畠1丁目13番1号

TEL 086 (450) 3807
FAX 086 (450) 4008

広島事業所 〒738-0513 広島県佐伯区湯来町大字伏谷字今山137番58

TEL 0829 (40) 5177
FAX 0829 (40) 5178

福山事業所 〒729-3102 広島県福山市新市町相方1089-19

TEL 0847 (54) 2007
FAX 0847 (54) 2008

鳥取事業所 〒680-0906 鳥取県鳥取市港町51番地

TEL 0857 (50) 1736
FAX 0857 (50) 1738

津山事業所 〒708-1544 岡山県久米郡美咲町周佐1377-4

TEL 0868 (62) 1232
FAX 0868 (62) 1233

取扱品目

死亡牛・死亡豚他の処理

有機性汚泥

廃食油

動植物性残渣

医療廃棄物

高知競馬開催案内

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

岡山県馬事畜産振興協議会（事務局 岡山県畜産協会）は、平成27年3月21日（土）に高知競馬場において、「岡山県ももたろう特別」競争の本年度第2回目を開催しますので多くの皆様のご来場をお待ちしています。

2月				3月			
開催日	備考	開催日	備考	開催日	備考	開催日	備考
1日○	ナイター	17火○	ナイター	1日○	ナイター	17火○	ナイター
2月		18水○	ナイター	2月		18水	
3火○	ナイター	19木		3火○	ナイター	19木	
4水○	ナイター	20金		4水		20金	
5木		21土		5木		21土○	ナイター
6金		22日○	ナイター	6金		22日○	ナイター
7土		23月		7土		23月	
8日○	ナイター	24火		8日○	ナイター	24火	
9月		25水○	ナイター	9月		25水	
10火○	ナイター	26木		10火○	ナイター	26木	
11水○	ナイター	27金		11水		27金	
12木		28土		12木		28土○	ナイター
13金				13金		29日○	ナイター
14土				14土		30月	
15日○	ナイター			15日○	ナイター	31火	
16月		ナイター(15:30~20:50)		16月		ナイター(15:30~20:50)	

あとがき

年明けの早々、県内の採卵鶏農家で高病原性鳥インフルエンザが発生した。平成19年1月の発生以来8年ぶりである。今回の飼育羽数は約20万羽と前回の十数倍の規模であるため、家畜保健衛生所はもとより県、市町村、農業団体を始め、自衛隊や国、他県等からも毎日600名を超える支援要員が派遣された。昼夜を徹して懸命の作業が行われた結果、1月23日に防疫措置を完了。翌24日には、殺処分した鶏、卵の焼却も全て完了。2月14日には移動制限の解除に至った。前回は対策本部として全体の対応に当たった私もこの度は農業団体の一員として鶏の焼却作業を行った。焼却施設に動員された職員は、組織や業務は様々であったが、厳しい寒さの中で互いに協力し合い、いやな顔一つせず夜を徹して懸命に作業に当たられる姿に胸を打たれた。(N·S)

岡山畜産便り 2月号(冬季号)

第66巻第2号(通巻655号)

平成27年2月25日発行

定価250円(消費税・送料含)

発行人 樋口義男 編集人 柴田範彦

発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階

TEL 086-222-8575 FAX 086-234-6031

印刷所 岡山県農協印刷株式会社

動物用医薬品
総合商社

MPアグロ株式会社

取扱品目

動物用医薬品、医薬品、飼料添加物、混合飼料、
動物用機器・機材、土壤検査器具・機材 他畜産関連商品

事業所一覧

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13 TEL 011-376-3860 FAX 011-376-3450
岡山オフィス 〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3丁目5番1号 TEL 086-224-1811 FAX 086-224-1819
AHSC西日本 〒703-8256 岡山県岡山市中区浜1丁目10番5号 TEL 086-270-9510 FAX 086-270-8371
御津物流センター 〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1 TEL 0867-24-4816 FAX 0867-24-4882

【中国営業部】

岡山支店 〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1 TEL 0867-24-4880 FAX 0867-24-4889
広島支店 山口支店 鳥取支店 島根支店

【四国営業部】高松支店 徳島支店 松山支店 宇和島支店

【近畿営業部】京都支店 大阪支店 兵庫支店

【北海道営業部】札幌支店 函館支店 旭川支店 帯広支店 北見支店 釧路支店 東京支店

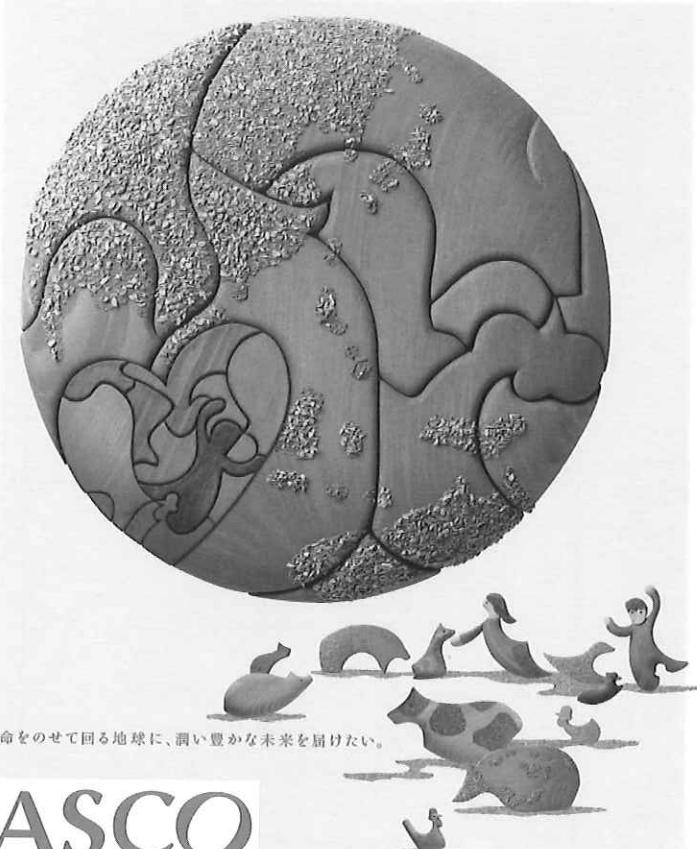
【東北営業部】青森支店 秋田支店 盛岡支店 一関支店 山形支店 仙台支店

【北九州営業部】福岡第一支店 福岡第二支店 熊本支店

【南九州営業部】宮崎支店 鹿児島支店 鹿屋支店

【食品営業部】福岡食品支店 宮崎食品支店 鳥栖食品支店 唐津食品支店 東京食品支店

※AHSCはアニマルヘルスサポートセンターの略称です



ASCO

株式会社 アスコ
<http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

営業所
所在地

- ・東北支店
宮城、福島
- ・東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

岡山畜産だより 平成二十七年一月号(冬季号)
(第六十六巻第2号通巻六五五号)

平成27年2月25日発行

岡山市北区磨屋町九一十八 岡山県農業会館
発行所 岡山県畜産協会

定価 一部
年間 二三五〇円(送料共
一五〇〇円(送料共)